

レーザ・アークハイブリッド溶接の船体建造工程適用に向けた基礎研究

津村, 秀一

<https://doi.org/10.15017/1654824>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	津村 秀一			
論 文 名	レーザ・アークハイブリッド溶接の船体建造工程適用に向けた基礎研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	准教授	後藤 浩二
	副 査	九州大学	教授	園田 佳巨
	副 査	九州大学	教授	吉川 孝男
	副 査	九州大学	教授	篠田 岳思

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、継手強度および溶接変形の観点から利点を有するレーザ・アークハイブリッド溶接技術を船体建造工程に導入するために解決すべき問題に対する有用な手法を提案したものであり、鋼橋や大型建築鉄骨構造の建造に対しても適用可能な溶接工学および船体構造工学に関する重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。